



Japan Venture Capital Association

日本ベンチャーキャピタル協会 ニュースレター No.28

2012年1月25日発行

グローバル化を推進

第10期のJVCAの運営方針として、アジアを中心とした海外のVC業界との連携によるグローバル化の強化を掲げております。グローバルな視点で意見・情報・知見を共有し、ネットワーキングやカンファレンスを行うことで、VC業界の質的向上ならびに社会的地位の向上を目指し、業界全体の健全な発展を導きたいと考えております。

英国PE/VC協会とMOUを締結

10月13日に英国で開催された英国PE/VC協会（BVCA）の年次総会に尾崎副会長が参加し、下記の内容のMOUを締結致しました。

- ①協会のガバナンスや委員会活動、トレーニングプログラムの協働
- ②カンファレンスやイベント活動の協働
- ③広報面での共同プログラムの検討

第2回世界VC会議に参加

10月30日～31日にイスラエルのエルサレムで開催された、第2回世界VC会議（Global VC Congress）に安達会長、安永理事が参加しました。世界13カ国のVC/PE業界の団体および世界各国の証券取引所の関係者と、活発な討議・意見交換・課題共有を行いました。



写真：現地新聞記事より転用 右から2番目が安達会長

China PE/ VC 2011 Annual Conferenceに参加

11月3日に中国の蘇州で開催されたChina PE/VC2011 Annual Conferenceに松本理事が参加し、5カ国（香港・台湾含む中国、インド、韓国、シンガポール）・10VC/PE協会との間で

MOUを締結しました。アジア圏各国・地域のVC・PE業界の発展と認知の推進を目的としています。



写真：Conferenceの様子 中央が松本理事

ASIA FINANCIAL FORUM 2012、ASIA PRIVATE EQUITY FORUM

2012年1月16日、17日に香港で開催されたAFF2012にJVCAより安達会長、橋本常務理事、並びに1月18日、19日に開催されたAPEF2012に安達会長、尾崎副会長橋本常務理事が出席しました。APEF2012においては、ASIA VENTURE CAPITAL COUNCIL（仮称）の設立が動議され初代会長にJVCA安達会長が就任予定です。第1回COUNCILは2012年10月に東京で開催予定です。



写真：左から安達会長、橋本常務理事

〔企画部〕 「第4回中国・四国VCトップ懇談会開催」

2011年10月14日に中国・四国地区のVC各社のトップ間の情報交流を目的として「第4回中国・四国地区VCトップ懇談会」を今年度も開催しました。

昨年度と同様中国・四国地区以外の九州地区や関西地区のベンチャーキャピタルにもお声かけし総勢44名（昨年32名）と数多くのVC関係者の方に参加して頂きました。今回は初めて広島県の湯崎知事にも参加頂き、ご挨拶を頂きました。

また懇談会では経済産業省新規産業室の坂本調整官から「VB・VCの社会的意識と期待

されている役割」というテーマで講演を頂き、JVCAへの期待についても貴重な提言をいただきました。

引続き行われた自由懇談でも現状の厳しい環境でどのようにVC経営を継続していくか等各社の現状についての意見交換で大変盛り上がりしました。

その後会場を移動して行いました懇親会でも日頃あまり接点がないVC各社間からの情報交換が出来、共通の課題・問題への意識を高め合うことができました。



写真：懇談会の様子



写真：懇親会の様子

〔企画部〕 「Entrepreneur Of The Year 2011 Japan」に安達会長が審査委員として参加

「Entrepreneur Of The Year 2011 Japan」に安達会長が審査委員として参加し、2011年11月29日にそのアワードレセプションが開催されました。当日はアクセラレーティング部門16人、チャレンジング・スピリット部門12人からそれぞれ1名の大賞を選び、この2名とナショナル・アントレプレナー・オブ・ザ・イヤー部門の2名を加えた4名が日本代表にノミネートされ、その結果、株式会社フェロテックの山村社長が選ばれました。



写真：受賞式の様子

〔会計委員会〕 国際会計基準審議会（IASB）が公表した公開草案「投資企業」に対するパブリックコメントの提出について

国際会計基準審議会（IASB）は2011年8月25日に公開草案「投資企業（Investment Entities）」を公表しました。

会計委員会はワーキンググループを立ち上げ対応を協議してきました。

昨年12月に「投資企業」の定義、投資企業の親会社の連結、開示要件等に関してパブリックコメントを提出しました。詳細はIFRSまたはJVCAのHPで確認できます。

<http://www.ifrs.org/Home.htm>

(税務委員会) 米国法「外国口座税務コンプライアンス法」(FATCA) について

2013年に米国で施行される予定の「外国口座税務コンプライアンス法」(FATCA)は、米国人・米国法人が海外口座を利用する際の租税回避行為の防止を目的としています。ヘッジファンドやプライベート・エクイティファンド、その他集団投資ビークルを含む外国金融機関(Foreign Financial Institution)は、米国内国歳入庁(Internal Revenue Service)と、米国人・米国法人が保有する口座情報の報告

等に関する契約を締結し、米人口座の有無の確認を行い、関連する一定の情報を報告することを求められます。締結しない場合には、30%の源泉税が課されます。

1月20日に新日本アーンスト アンド ヤングの先生をお呼びして税務委員会主催の勉強会を開催しましたが、今後も継続して調査・研究を進め、確認できた事項は適宜会員の皆様にご報告する予定です。

(法務委員会) 会社法制の見直しに関する中間試案」に関するパブリックコメントの提出について

2009年4月より法制審議会「会社法制部会」において、会社が社会的、経済的に重要な役割を果たしていることに照らして会社を取り巻く幅広い利害関係者からの一層の信頼を確保する観点から、企業統治の在り方や親子会社に関する規律等について会社法の見直しが調査・審議が行われてきており、安達会長も委員として参加しています。

JVCA・法務委員会としても会社法制対応

のワーキンググループを立ち上げ、8回の会合を重ね対応を協議してきました。

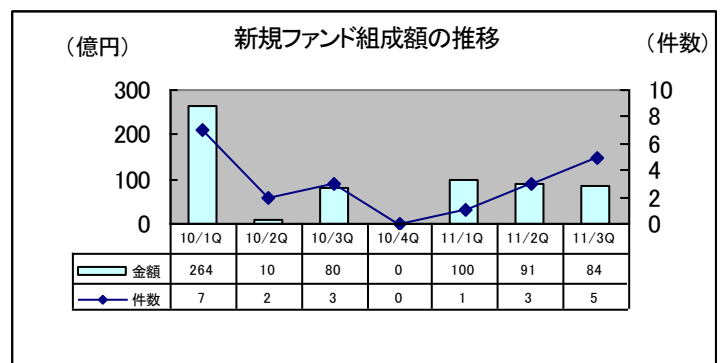
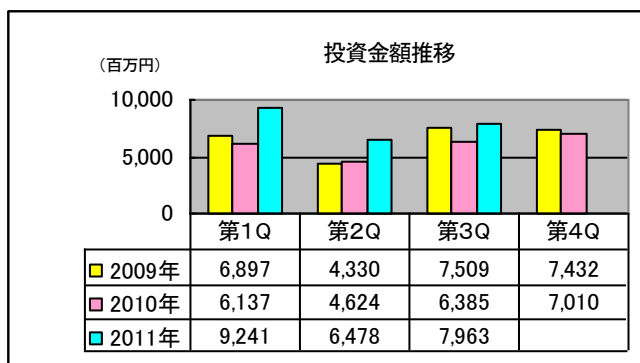
12月14日に法務省から「会社法制の見直しに関する中間試案」が公表され、パブリックコメントが募集されております。

JVCAからは既に7月にベンチャーキャピタル業界の意見を反映した意見書の提出を行っておりますが、引き続きパブリックコメントを提出する予定です。

(調査・研究委員会) 「2011年第3四半期(7月～9月)の投資動向調査」

第2四半期(4月～6月)が東日本大地震の影響を受け65億円と落ち込みましたが、第3四半期(7月～9月)は80億円と増加に転じました。この結果昨年の投資額242億円とほぼ同水準の投資が9月までに成され

たことになり、今年は漸く年間投資額が300億円を越える状況になってきました。また新規ファンド組成も5件の84億円と今年は着実にファンドが組成されています。



JVCAからのお知らせ

1. 勉強会等のご案内

◆ JVCA定例勉強会

原則として月1回、VC会員・賛助会員を対象とした勉強会を開催しております。直近で開催された定例勉強会は以下の通りです。

第72回（11月16日開催）定例勉強会

テーマ 新興市場活性化に向けた証券リサーチセンターの取組みについて
 講師 一般社団法人証券リサーチセンター
 理事 船橋 仁 氏（株式会社ICMG代表取締役社長）

第73回（12月9日開催）定例勉強会

テーマ 反社会勢力排除の実務対応
 講師 TMI 総合法律事務所
 弁護士 大井 哲也 氏
 株式会社エス・ピー・ネットワーク
 主任研究員 芳賀 恒人 氏

第74回（1月13日開催）定例勉強会

テーマ 我が国未上場企業における種類株式の利用促進に向けて
 講師 経済産業省
 経済産業政策局 新規産業室 係長 吉澤 賢一 氏

第75回（1月25日開催）定例勉強会

テーマ VC投資のための知財デューデリジェンス
 講師 西村あさひ法律事務所
 弁護士 佐藤 義幸 氏

2. 会員の入会

10月25日付	賛助会員	京都リサーチパーク株式会社
10月25日付	賛助会員	三菱UFJ信託銀行株式会社
12月13日付	賛助会員	独立行政法人情報通信研究機構
12月13日付	賛助会員	辻・本郷税理士法人
		他に個人1名（賛助会員）

現状の会員数 VC会員52社 賛助会員72社（名） 合計124社（名）

日本ベンチャーキャピタル協会 ニュースレター No.28

■発行日 平成24年1月25日

■発行 一般社団法人 日本ベンチャーキャピタル協会

■編集 JVCA企画部/事務局

〒169-0074 東京都新宿区北新宿2-21-1 新宿フロントタワー

TEL : 03-5937-0300 FAX : 03-5937-0301

E-mail : jimukyoku@jvca.jp URL : <http://www.jvca.jp/>